

要請番号 (JL12425B23)

募集終了

4

異文化理解を
深めよう

9

企業と技術者の
連携を深めよう

国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
パプアニューギニア	G151PCインストラクター		個別	新規	2年	・2026/1・2026/2・ 2026/3・2027/1



任地の情報

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

東ニューブリテン州政府

2) 配属機関名 (日本語)

ドン・ボスコ工業高等学校

3) 任地 (東ニューブリテン州ココボ郡ココボ市) JICA事務所の所在地 (ポートモレスビー市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (飛行機で約2.0時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

ドン・ボスコ工業高等学校は1993年にイタリア系カトリック教会によって設立され、セカンダリースクールとして高等教育の機会および職業訓練校として就労訓練の機会を地域に提供してきた。学校は教育部(理科・数学などの高等教育科目)と技術部(自動車整備、木工、機械組立などの職業訓練科目)の二部で構成されており、全校生徒数は約750名(内約200名は寄宿生)である。年間予算は約6,000万円。同校はこれまでにVSA(ニュージーランドのボランティア機関)やアメリカのドン・ボスコ系列の教育機関などから外国人ボランティアの受け入れを行っていたが、JICA海外協力隊の派遣実績はない。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

当国では政府が定める長期国家戦略Vision2050の中で、社会経済の成長を目的としたICTの活用による持続可能な教育の推進を掲げている。同校でもその政府の戦略に合わせ、ICTを活用できる人材の育成を目的とし、ICT科の拡充を図ってきた。現在建築中の新しい校舎にPCラボを移転し、より質の高いICTの授業の提供を実現すべくカリキュラムの再編を行っている。また、同校は海外の様々な国からボランティアを積極的に受け入れ、異文化交流を通じ多様な価値観を育む事で、心豊かな青少年の育成に注力しており、ICTの教育に加えて、異文化理解の機会を提供することもJICA海外協力隊に期待されている。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 同校のカリキュラムに沿ってICT科の生徒に対する実技・座学指導を実施する(週20コマ程度、1コマ40分)
- ICTラボ内の機材(パソコン、プリンター、ネットワーク機器など)の管理およびメンテナンスを行う
- 上記1および2を同僚教員と一緒に実施することにより現状のカリキュラムの課題点を抽出すると共に、改善方法を協議し、授業計画に反映する
- 近隣の他の隊員と協力し、日本文化紹介や異文化理解の為のイベント等を企画・実施する

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

デスクトップパソコン36台(Windows7, 10混在)、プリンター、デスク、椅子

4) 配属先同僚及び活動対象者

【配属先同僚】

校長40代男性大卒、ICT科教員4名(20代～60代)

【活動対象者】

ICT科の生徒約250名

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

その他

7) 選考指定言語

英語(レベル:C)

【資格条件等】

[免許/資格等]: (ITレベル1以上 (ITパスポート等))

[学歴]: () 備考:

[性別]: (男性) 備考: 安全対策上の理由

[経験]: (指導経験) 2年以上 備考: 指導方法の共有を行うため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]: (熱帯雨林気候) 気温: (25～35℃位)

[電気]: (安定)

[通信]: (インターネット可 電話可)

[水源]: (安定)

【特記事項】

赴任後、現地語研修(ピジン語)を行う。住居は配属先提供の職員住居を予定。今後、他職種の隊員が配属先に派遣された場合はシェアハウスとなる可能性がある。任地は不定期な停電・断水がある。PNGにおける[海外協力隊の活動を紹介](#)

【類似職種】

・コンピュータ技術

※活動内容が類似している要請が含まれる職種を表示しています。職種に拘らず要請内容でもご検討ください。